

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
博士後期課程

# 学生募集要項

2019年4月入学・進学（第2回）

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND  
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>

## 〈〈 アドミッション・ポリシー 〉〉

大学院医歯薬学総合研究科（薬学系）では、その設置の趣旨・目的に基づき次のような学生を求めています。

- 1) 最先端の研究動向を把握し、地域から国際社会まで幅広く普遍的に貢献する研究を志す人
- 2) 医・歯・薬学の専門的知識を統合した学際的研究を志す人
- 3) 世界をリードする先端的・独創的研究を推進し、研究成果を発信する人
- 4) 高度で幅広い知識を習得し、科学の進歩に適応しうる問題解決能力を涵養する人

## 目 次

I 募集人員	1 ページ
II 入試日程	1 ページ
III 一般入試	2 ページ
IV 進学者選考要項	7 ページ
V 薬科学専攻（博士後期課程）カリキュラム	10 ページ
VI 薬科学専攻（博士後期課程）案内	12 ページ

### 入学試験に関する照会先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等  
薬学系事務室教務学生担当

TEL (086) 251-7923

募集要項等の郵送を希望する場合は、「医歯薬学総合研究科（博士後期課程）募集要項請求」とし、返信用封筒（角形2号の封筒に郵便切手250円分を貼付したもの）を同封して、上記あてに請求してください。

## I 募集人員

専攻	2019年4月入学募集人員
薬科学専攻	若干人

※ 募集人員には、進学者選考での若干人を含みます。

## II 入試日程

試験	2019年4月入学（第2回）
出願期間	2018年12月18日（火） ～ 2018年12月25日（火）
試験日	2019年 1月11日（金）
合格者発表	2019年 2月 8日（金）

### Ⅲ 一般入試

#### 1 出願資格

次のいずれかに該当する者又は2019年3月までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

注1 岡山大学大学院博士前期課程又は修士課程を修了見込の方は、「Ⅳ 進学者選考要項（7ページ）」により出願してください。

注2 出願資格(2)に定める「外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者」とは、外国において、日本の修士課程に対応する課程を修了した者で、学校教育課程年数が18年以上の者をいいます。

なお、学校教育課程年数が18年未満の者のうち日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間研究に従事している者は、出願資格を有するものとします。

注3 出願資格(3)に定める「外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者」の学校教育課程年数及び通算修学年数の取り扱いは、前記(2)と同じです。

注4 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者で、大学等を卒業又は修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有するものとします。（出願資格審査申請が必要です。2の「出願資格における個別の入学資格審査」をご覧ください。）

- ① 大学を卒業した者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

注5 出願資格(8)に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として本研究科で書類審査の後に学力検査（筆記試験、口頭試問）及び面接を行い合格した者としてします。（出願資格審査申請が必要です。2の「出願資格における個別の入学資格審査」をご覧ください。）ただし、提出書類等により、個人の能力の確認ができる場合は、筆記試験は省略することがあります。

なお、学力検査等の実施日程、実施方法等については個別に連絡します。

## 2 出願資格における個別の入学資格審査

前記1の出願資格(7)又は(8)における入学志願者は、出願の前に、入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、次により申請書類を請求し、期限までに提出してください。

申請書類請求方法	「大学院医歯薬学総合研究科入学資格審査申請書類請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒を同封し、請求先あてに郵送してください。 [返信用封筒] 長形3号封筒(23.5cm×12cm)に、入学志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、372円分の切手を貼り付けてください。
請求先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923
申請書類提出締め切り期限	2018年12月7日(金)

### 出願資格審査提出書類

(1) 出願資格認定申請・調書	本研究科所定の様式を使用してください。
(2) 業績調書	本研究科所定の様式を使用してください。(専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。 なお、学術論文等は、別刷り又はその写しを添付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付してください。
(3) 研究従事内容証明書	本研究科所定の様式を使用してください。 (所属機関等が作成したもの)
(4) 成績証明書(最終学歴)	最終出身学校長が作成したもの
(5) 卒業証明書(最終学歴)	最終出身学校長が作成したもの
(6) 資格免許証等	専攻分野に関連する各種免許証等参考になるとと思われる書類の写し(A4版にコピーして簡単な説明を付してください。)

(1)～(3)の様式は、出願書類の終わりに添付してあります。  
(提出された書類は、出願資格審査のために使用します。)

## 3 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて相談してください。
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923
相談締め切り期限	2018年12月7日(金)

## 4 出願手続

### (1) 出願方法

入学志望者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

### (2) 出願期間

2018年12月18日(火)から2018年12月25日(火)17時(必着)

(注) 持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。(土日・祝日を除きます。また、12時から13時までを除きます。)

### (3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等  
薬学系事務室教務学生担当  
TEL(086)251-7923

### (4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあります。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式任意)を添付してください。
- ⑥ 12ページの「VI 薬科学専攻(博士後期課程)案内」により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、志望する教育研究分野の担当教員に、事前に相談してください。

### (5) 出願に必要な書類等

① 入学願書・履歴書 ・受験票	本研究科所定の用紙を使用してください。 電話番号、E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し、E-mailは岡山大学からのメール(@adm.okayama-u.ac.jp)が受信できるように設定してください。
② 写 真	出願前3か月以内に上半身、無帽、正面向きで撮影したものを入学願書及び受験票の所定の欄に貼り付けてください。
③ 入学検定料	30,000円(振込手数料が別に必要です) 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)の窓口から振込(ATMは使用しないでください。)によって納入し、必ず、「入学検定料振込証明書」を所定欄(受験票下欄)に貼り付けて提出してください。 【入学検定料の免除について】 本学では、2018年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の措置を講じます。 ※ 詳細については、本学のホームページ( <a href="http://www.okayama-u.ac.jp">http://www.okayama-u.ac.jp</a> )から「入試」→「入学検定料の免除」をご確認ください。
④ 成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの及び出身大学院の学長又は研究科長が作成したものの両方が必要です。
⑤ 修了証明書 又は修了見込証明書	博士前期課程(修士課程)若しくは専門職大学院のもの
⑥ 住 民 票	<u>日本在住の外国人</u> の入学志願者のみ 市区町村長が発行したもの(在留資格・在留期間が記載されたもの)

⑦ 学位論文等	次のいずれかを提出してください。 ア 修士の学位を有する者は、修士論文の写し及び論文の要旨（本研究科所定の用紙で2,000字程度）各1部 イ 修士課程修了見込みの者及び <b>1の出願資格(7)又は(8)</b> により出願する者は、研究経過報告書（本研究科所定の用紙で2,000字程度）なお、研究発表等の資料があれば添付してください。
⑧ 研究計画書	本研究科所定の用紙を使用してください。
⑨ 履歴書及び研究従事内容証明書	<b>1の出願資格(2)～(3)</b> に該当する者については、学校教育課程年数及び研究歴を確認しますので、本研究科所定の用紙に必要事項を記載して提出してください。
⑩ 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書	<b>1の出願資格(6)</b> に該当する者については、当該審査を行った学校等の長(学長、施設長等)が作成した、「博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認・報告書」(添付「様式例」参照)及び、その添付資料として「当該審査の合格とその学校等における修士の学位の授与要件の関係を示す資料」を提出してください。
⑪ 英語能力試験のスコアカード	試験日の2年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験のスコアカードの原本を提出してください。スコアカードは後日返却します。 ・TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度(IPテスト) ・TOEFL-PBT ・TOEFL-iBT ・IELTS (overall score) ※外国人留学生は、上記と同等の英語の成績を証明するもの
⑫ 受験票等送付用封筒	受験票は、交付の準備ができ次第連絡しますので、薬学系教務学生担当事務室まで取りに来てください。郵送を希望される方は、この募集要項に添付されている封筒に、受験票の送付先(入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名)を明記し362円分の切手を貼ってください。
⑬ 連絡受信先シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。

## 【注意事項】

- ① 外国人留学生の方で、日本語能力試験2級以上、若しくはN2以上の証明書の証明書を保有している場合は、併せて提出してください。
- ② 出願資格審査で、出願資格が有と認定された入学志願者は、④及び⑤の証明書の提出は不要です。

### (6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、入学願書に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名(漢字・カナ)の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

## 5 受験票の交付

- (1) 受験票は、2018年12月27日(木)頃に本人あて発送します。  
なお、2019年1月4日(金)までに到着しない場合には、次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等  
薬学系事務室教務学生担当  
TEL(086)251-7923

- (2) 受験票は、試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので、大切に保管しておいてください。

## 6 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、口頭試問、外部英語試験(英語能力試験)及び出願書類等を総合して行います。

口頭試問は、修士学位論文及び研究計画書等を中心に行います。

なお、必要に応じて口頭試問の中で、英語(外国人留学生に対しては日本語)の能力に関する試問を行います。

また、書類審査等で能力が十分判定できる場合には、口頭試問を省略する場合があります。

### (1) 試験日程

試験日	試験内容	試験時間
2019年1月11日(金)	口頭試問	9時30分～

※ 試問場所は、指導予定教員から後日連絡します。

### (2) 試験場

岡山大学薬学部1号館 【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅運動公園口(西口)から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅後楽園口(東口)から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車、徒歩約10分

## 7 合格者発表

### (1) 合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日時	掲示場所
2019年2月8日(金) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板

- ① 合格者には、医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当の窓口で、合格通知書等を交付します。(本学に在籍していない合格者には、合格通知書を郵送します。)
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。  
(<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 8 入学手続

### (1) 入学手続方法

詳細は、「入学案内」により通知します。

### (2) 入学手続期間

2019年3月13日(水)及び14日(木)

## 9 その他

### (1) 入試に関する緊急のお知らせは、以下のホームページに掲載するとともに、志願票に記載されたメールアドレス宛に連絡します。

(<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>)

### (2) 学費

入学料 282,000円 [予定額]

授業料(前半期分) 267,900円 (年額535,800円) [予定額]

※ なお、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

### (3) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

## 10 昼夜開講制について

本専攻では、社会人の受講に便宜を図るため、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例(昼夜開講制)を適用し、昼間だけでなく夜間等(土曜日、夏季・冬季休暇など)においても授業及び研究指導を行っています。



## IV 進学者選考要項

### 1 出願資格

本学大学院博士前期課程又は修士課程を、2019年3月に修了する見込みの者

### 2 障がい等のある方の出願

障がい等のある進学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。
請求先 相談先	〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923
相談締め切り期限	2018年12月7日（金）

### 3 出願手続

#### (1) 出願方法

進学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を出願期間内に持参してください。

#### (2) 出願期間

2018年12月18日（火）から2018年12月25日（火）17時（必着）

(注) 持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。（土日・祝日を除きます。また、12時から13時までを除きます。）

#### (3) 提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等  
薬学系事務室教務学生担当  
TEL(086)251-7923

#### (4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、進学後においても進学が取り消されることがあります。
- ⑤ 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を進学志願者本人が記入した文書（様式任意）を添付してください。
- ⑥ 12ページの「VI 薬科学専攻(博士後期課程)案内」により、講座・教育研究分野・研究内容・担当教員の一覧表を参照するとともに、志望する教育研究分野の担当教員に、事前に相談してください。

(5) 出願に必要な書類等

① 進学願書・履歴書 ・受験票	本研究科所定の用紙を使用してください。 電話番号, E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し, E-mailは岡山大学からのメール (@adm.okayama-u.ac.jp) が受信できるように設定してください。 本学に在籍する志願者は, 岡山大学Gmailのアドレスを記入してください。
② 写 真	出願前3か月以内に上半身, 無帽, 正面向きで撮影したものを進学願書及び受験票の所定の欄に貼り付けてください。
③ 成績証明書	博士前期課程(修士課程)成績証明書を提出してください。
④ 研究経過報告書	本研究科所定の用紙で2,000字程度
⑤ 研究計画書	本研究科所定の用紙を使用してください。
⑥ 英語能力試験の スコアカード	試験日の2年前から出願までの間に受験した下記のいずれかの英語能力試験のスコアカードの原本を提出してください。スコアカードは後日返却します。 ・TOEIC公開テスト又はTOEIC団体特別受験制度(IPテスト) ・TOEFL-PBT ・TOEFL-iBT ・IELTS (overall score) ※外国人留学生は, 上記と同等の英語の成績を証明するもの
⑦ 受験票等送付用 封筒	受験票は, 交付の準備ができ次第連絡しますので, 薬学系教務学生担当事務室まで取りに来てください。郵送を希望される方は, この募集要項に添付されている封筒に, 受験票の送付先(入学志願者本人の郵便番号, 住所, 氏名)を明記し, 362円分の切手を貼ってください。
⑧ 連絡受信先 シール	合格通知及び入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。

(6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は, 入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし, 入学者については, 志願票に記載された氏名, 性別, 生年月日, 現住所, 出身学校等の個人情報を, 本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また, 合格者の受験番号, 氏名(漢字・カナ)の個人情報については, 本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお, 入学料免除の申請, 入学料徴収猶予の申請, 授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は, 申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を, 入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

## 4 受験票の交付

(1) 受験票は, 2018年12月27日(木)頃に本人あて発送します。

なお, 2019年1月4日(金)までに到着しない場合には, 次の連絡先に連絡してください。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等 薬学系事務室教務学生担当 TEL(086)251-7923
---

(2) 受験票は, 試験当日及び入学手続の際に必要なとなりますので, 大切に保管しておいてください。

## 5 進学者選抜方法等

進学者の選抜は、口頭試問、外部英語試験(英語能力試験)及び出願書類等で総合して行います。

口頭試問は、研究経過報告書及び研究計画書等を中心に行います。

なお、必要に応じて口頭試問の中で、英語(外国人に対しては日本語)の能力に関する試問を行います。

また、書類審査等で能力が十分判定できる場合には、口頭試問を省略する場合があります。

### (1) 試験日程

試験日	試験科目	試験時間
2019年1月11日(金)	口頭試問	9時30分～

※ 試問場所は、指導予定教員から後日連絡します。

### (2) 試験場

岡山大学薬学部1号館 【岡山市北区津島中1-1-1】

- ① JR岡山駅運動公園口(西口)から「47」系統の岡電バスで「岡大入口」又は「岡大西門」下車
- ② JR岡山駅後楽園口(東口)から「17」系統の岡電バスで「福居入口」又は「岡大西門」下車
- ③ JR津山線「法界院駅」下車、徒歩約10分

## 6 合格者発表

- (1) 合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

日時	掲示場所
2019年2月8日(金) 10時(予定)	薬学部1号館前 掲示板

- ① 合格者には、医歯薬学総合研究科等薬学系事務室教務学生担当の窓口で、合格通知書等を交付します。
- ② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。  
(<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>)
- ③ 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

## 7 進学手続

- (1) 進学手続方法

詳細は、「入学案内」により通知します。

- (2) 進学手続期間

2019年3月13日(水)及び14日(木)

## 8 その他

- (1) 入試に関する緊急のお知らせは、以下のホームページに掲載するとともに、志願票に記載されたメールアドレス宛に連絡します。

(<http://www.pharm.okayama-u.ac.jp>)

- (2) 学費

検定料及び入学料は不要です。

授業料(前半期分) 267,900円 (年額 535,800円) [予定額]

※ なお、進学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

- (3) 修学援助

修学援助の一環として、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

## V 薬科学専攻（博士後期課程）カリキュラム

### 1 組織及び研究内容

12 ページの「VI薬科学専攻（博士後期課程）案内」を参照してください。

### 2 修了要件

所定の 16 単位以上（ただし、分子イメージング教育コースは 22 単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格すること。修了要件を満たした者には、博士(薬科学)又は博士(学術)の学位が授与されます。

### 3 博士後期課程の履修コース及び履修方法

博士後期課程には、以下の 2 つの履修コースを設けています。

- (1) 一般コース
- (2) 分子イメージング教育コース

- (1) 一般コース

専門基盤科目（研究方法論基礎・応用）、研究指導科目（課題研究、薬科学英語演習）及び専門科目（選択科目、薬科学演習）により、研究手法の取得と論文の作成を行うコースです。

#### 履修方法

科目 区分	授業科目	単位数		年次ごとの単位修得			修了要件 単位数	博士課程 科目の履修
		必修	選択	1	2	3		
専門基盤 科目	研究方法論基礎(10 題目以上)	2		-----▶	2		2	可
	研究方法論応用(10 題目以上)	2		-----▶	2		2	可
研究指導 科目	課題研究 (所属する教育研究分野)	4		-----▶	4		4	不可
	薬科学英語演習 (所属する教育研究分野)	1		-----▶	1		1	該当なし
専門 科目	選択科目 (3 科目, 各 1 単位) (注1)		3	-----▶	3		3	該当なし (注1)
	薬科学演習 (注2)	2	2	-----▶	4		4	選択では可
合 計		16					16	

(注1) 「選択科目」については、博士課程の薬学系教員も兼任教員として開講することとし、3 科目のうち 1 科目は、これらの他専攻教員担当の「選択科目」を履修することができます。

(注2) 選択では、博士課程専門科目（講義・演習）も履修することができます。

(2) 分子イメージング教育コース

分子イメージングとは、生体内での分子の挙動をリアルタイムに可視化する手法で、その可視化を非侵襲的に行えるのが特徴です。このコースでは分子イメージング技術の習得に重点を置いており、「薬科学演習」の選択2単位を除く通常の修了要件に加え、分子イメージングプログラム関連の3科目8単位以上の修得を課します（単位の内訳は下表のとおり）。

履修方法

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		修了要件 単位数
			必修	選択	
専門基盤科目	研究方法論基礎（10 題目以上）	1・2年， 通年	2		2
	研究方法論応用（10 題目以上）	1・2年， 通年	2		2
研究指導科目	課題研究（所属する教育研究分野）	1－2年， 通年	4		4
	薬科学英語演習（所属する教育研究分野）	1－2年， 通年	1		1
分子イメージングプログラム	分子イメージング科学概論	1・2年， 通年	2		8
	PET 科学アカデミー	1・2年， 通年		2	
	分子イメージング科学 （講義・演習）	1・2年， 通年	2		
	分子イメージング科学 （演習・実習）	1・2年， 通年	4		
専門科目	選択科目（3科目， 各1単位） （注）	1・2年， 通年		3	3
	薬科学演習	1・2年， 通年	2		2
合 計			19	3	22

(注) 「選択科目」については、博士課程の薬学系教員も兼任教員として開講することとし、3科目のうち1科目は、これらの他専攻教員担当の「選択科目」を履修することができます。

## VI 薬科学専攻(博士後期課程)案内

講座	教育研究分野		担当教員
	名称	内容	
創薬分子生命科学	創薬有機化学	有機合成化学の新技术・戦略の開拓と生物活性天然物の全合成に基づく医薬開発(天然物創薬)に関する教育・研究を行う。	好光 健彦 教授
	合成医薬品開発学	創薬を指向した分子設計と医薬品合成のためのプロセス化学及び精密合成化学反応の開発とその医薬分子創製への応用に関する教育・研究を行う。	(加来田 博貴 准教授)
	天然医薬品開発学	和漢薬などとして利用される生薬及び未利用植物資源からの新規生物活性物質の開拓及び生薬の有用性の科学的基礎付けを中心とした教育・研究を行う。	(谷口 抄子 准教授)
	精密有機合成化学	汎用性のある多段階ワンポット反応の開発と, late stage functionalizationによる効率的合成法の確立, 及びそれらを基軸とした生物活性物質の全合成に向けた教育, 研究を行う。また, 優れた発光性や色彩を持つ $\pi$ 電子系分子を創出し, その物性解明研究を行う。	澤田 大介 教授
	生体機能分析学	物理的診断法(画像診断)のための各種分子プローブ開発と、生体分子イメージング技術に基づく生理機能の解析や疾患の病態解明など、生体機能の非侵襲的分析に関する教育・研究を行う。	上田 真史 教授
	生体膜生化学	医学・薬学的に重要な神経伝達物質トランスポーターと脂溶性物質トランスポーターの構造・分子機構・生理的意義に関する教育・研究を行う。	(表 弘志 准教授)
	薬物動態制御学	医薬品の吸収, 分布, 代謝及び排泄の特性を解析し, その解析結果を基に, 医薬品の有効性・安全性を高める最適な製剤の開発を目的にした基礎的な研究教育, 及び実用化を目指した応用的な教育・研究を行う。	檜垣 和孝 教授
	生体応答制御学	細胞生物学的なアプローチを通じて, 免疫細胞による生体内の恒常性維持, あるいはその破綻のメカニズムに関する教育・研究を行う。	(古田 和幸 准教授)
	生体物理化学	光や電気などの物理的刺激を利用し, 分子から脳まで, 高速反応から分子進化までの幅広い時空間軸での解析と解析法の開拓を行い, 生命機能を物理化学の言葉で理解することで, 創薬を支えるための教育・研究を行う。	須藤 雄気 教授
	膜輸送分子生物学	膜輸送体(トランスポーター)の生理的・病態的役割を分子レベルから個体レベルまで明らかにし, その分子メカニズムに基づく新たな創薬基盤を構築する。トランスポーター創薬に資する教育・研究を行う。	※ (宮地 孝明 准教授)

※は他部局所属の協力教員を示す。